自 己 評 価 票

○ 自己評価は全部で100項目あります。
○ これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
○ 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
○ 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

○ 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
Ⅰ. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
Ⅴ. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

［取り組みの事実］
ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

［取り組んでいきたい項目］
今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

［取り組んでいきたい内容］
「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

［特に力を入れている点・アピールしたい点］（アウトカム項目の後にある欄です）
日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 ＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家　族 ＝家族に限定しています。
運営者 ＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員＝ 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム ＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（№1から№87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（№88から№100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホームふれあい香貫
（ユニット名）	2Fユニット
所在地 （県・市町村名）	静岡県沼津市下香貫揚原530－16
記入者名 （管理者）	山口　路子
記入日	平成　21年　1　月　15　日

セリオコーポレーション有限会社　アスク事業部

地域密着型サービス評価の自己評価票

（ ▒ 部分は外部評価との共通評価項目です ）

取り組んでいきたい項目

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
Ⅰ．理念に基づく運営				
1．理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念「みんな仲良く集う毎日」を利用者の主体的立場とし、それを職員、家族、地域がサポートし、構築していきたい。	○	環境的整備を行うとともに、利用者を主体として、当ホームの目指す理念構築を作り上げたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入職時のオリエンテーションにて説明を行い、ホーム独自の目標を示し、目標に向けた行動規範を促すと共に、実践における日頃のケアの根底に流れるものとして受け止めるよう教育、指導しております。	○	実践上どのような現実上の困難があるとしても理念は認知症介護に不可欠であるという気持ちと行動の大切さを認識するよう今後更に取り組みたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	2ヶ月に1度の家族会や面会時にご家族の目にふれるようホーム入口に掲示しております。運営推進会議の際にも、利用者の日々の生活がこの理念に沿って行われていることを説明しております。また、自治会の組長会議においても同様に説明し、地域の方々の理解を頂いております。	○	ご家族様や地域の皆様へのアピールを続けていきたいです。
2．地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日々の散歩や買い物の中で顔見知りができ、挨拶や会話の中でホームを理解していただき、利用者の離設などがあった場合は隣近所の方が電話連絡して下さることもありました。	○	さらに地域と溶け込めるように努力をしていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	もちつき大会、秋祭り等、ホーム主催の行事は、自治会や子供会に回覧にて参加を呼びかけ、町内のお祭りでは子供みこしや盆踊りが来訪して下さり利用者方と一緒に交流されております。又町内の防災訓練にも積極的に参加しております。	○	自治会の行事に参加し、ホーム主催の行事には、少しでも多くの地域の方々に参加していただけるよう努力します。

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣にお住まいの高齢者の方々に気軽に立ち寄って頂けるようなホームを目指し、日常的に挨拶を交わし、行事のお知らせなど直接参加を呼びかけています。	○	地域貢献できる事は無いか更に考えて行きたい。
３．理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員が目を通して情報を共有し、ホームの向上についても意見を吸い上げ取り組んでいます。	○	改善、向上につながるよう日々考え取り組んでまいります。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度の運営推進会議ではホーム内での出来事の報告を行うとともに、ご家族からの要望や質問等に基づき活発な意見交換を行っております。	○	運営推進会議の進行や議題のチョイスで活発な話ができ有意義な時間がとれ、合わせて家族会催し、食事会を通して利用者様ご家族様の間の交流ができ、良い方向に向かいつつあります。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	沼津市役所長寿介護課の方、地域包括支援センターの皆さまにはあたたかく支えられております。2ヶ月に1度のグループホーム連絡協議会に参加させて頂き、他の事業所の方々と意見交換又は行き来ができるようになりました。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について職員の何名かは研修で習得しています。利用者やご家族様から相談を頂いたとき、意向に沿えるよう協力させて頂きます。	○	内部研修を活用し今後に役立てるようにしたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	スタッフミーティングでの中で高齢者虐待防止関連法についてお話し、見過ごす事の無いよう利用者の変化について、どんな些細なことでも申し送り、記載し、情報の共有を行っております。		

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
４．理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時書面を読み合わせ、説明をさせて頂いております。分からないことがあるとき、随時問い合わせにお答えし、理解していただけるよう努めております。	○	気軽に相談していただけるような雰囲気づくりに努めていきたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃の利用者との関りの中で聞き取ったり、察知するよう気付きシートを設け解決へ向けて取り組んでおります。	○	自己表現が困難になった利用者様の不満なども見落とすことなく反映させていきたいです。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	健康状態に変化のあるときは、ご家族へ相談し、受診をお願いしております。急変のときは、病院受診させるとともに、ご家族へ直ちに連絡します。また、スタッフの異動や行事等は毎月お便りへ記載し、金銭管理や暮らしぶりについては個別に記載しております。	○	ご家族様にもリアルタイムで現状を報告ができるように努めてまいります。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム入り口に苦情箱を設け対応させていただいており、個人情報が外部にもれぬよう努めております。また、口頭等の相談は迅速に対応を心掛けております。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常の何気ない会話から良い提案が出たり、気軽に意見交換のできるフロアーミーティングを月1回開催しております。	○	意見や提案を話し易い環境作りを目指し継続していきたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員の体調不良などによる急な欠勤等は代役の要請で補い、個々の希望に沿った勤務調整を行っております。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動、離職について最小限に留めるよう個人的な要望や不満などを聞き入れ個々に対応しております。		

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
５．人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修として毎月1回社内研修委員会により段階に応じた研修があり、社外研修は掲示等積極的に行い自主参加を促しています。	○	それぞれのレベルにあった研修を受けレベルアップをはかっていきたいです。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2ヶ月に1度かぬき地域包括支援センターによるグループホーム連絡協議会に参加させていただき、意見交換、相談などの機会をいただき、近隣事業所への見学、運営推進会議への参加も積極的に行い、それを参考にサービス向上へ取り組みを行っております。	○	これからも積極的に近隣事業所の方々と交流させていただきサービス向上に取り組んでいきたいとおもいます。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日頃より各グループホームを巡回し管理者、職員との会話の中で意見を聞いていただいております。	○	現状の人員構成、シフト作り等、時間と業務に追われる現況、今後少しでも余裕とできる一時を目指したい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	日頃より明るく挨拶を交わし、気軽に声を掛けてくださったり、優しく接してくださってます。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
１．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	なるべく来訪し見学していただくよう心掛け、相談については安心して納得していただけるまで話を伺い相談に応じております。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	心配な事、疑問点など安心して何でも話せる雰囲気作りを心掛けております。	○	コミュニケーションの中で些細な事でも気軽に相談できる雰囲気づくりに努めたい。

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居を急がれている場合、空室がない時近隣施設又はその他のサービスを紹介するよう心掛けております。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	在宅において生活習慣としていた内容をうかがい、それに類似した生活環境を整え、少しずつ慣れていただくため、ご本人やご家族の要望を参考にしております。		
２．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	2F利用者様は女性同士、会話が多く家事や裁縫、工作など利用者様の得意分野を活かされ、スタッフも教えていただくことが多くあります。	○	これからも一緒にできることを探していきたいと思います。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族との面会時に近況の報告をしながら利用者様へ何をしてさしあげたいか、悩み等を共有し改善しています。	○	スタッフ個々が家族との関りをバランスを持って行っていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	できる限り会話する時間を設け理解できるように努める。「家族ノート」を設けホームと家族間を結ぶ架け橋としている。これを楽しみにされてるご家族もいらっしゃいます。	○	「家族ノート」が継続し何らかの良い結果が生まれそうです。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	会話の中からご本人様の行きたい場所、会いたい方の希望を聞き出し、出来る限りご希望に添えるよう援助しております。	○	これからもできる限りの要望に沿えるよう努めていきたいと思います。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	日々の体操、レクリエーションは自主的に全員参加で行っています。みかん狩り、遠足等の施設外行事、クリスマス会、餅つき、誕生会等は施設内1F2F合同行事とし、皆様楽しまれています。	○	月に一回ある行事を継続して楽しめるよう創意工夫していきます。

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去されたご家族様には行事や運営推進会議など、その都度お便りを出し気軽に立ち寄れる雰囲気作りに心掛けております。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1．一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限りご本人やご家族のご希望を聞き入れ部屋作りや環境作りを行い、暮らしが安全で生活できるよう、ご本人の意向を重視しつつ努めております。	○	ご本人が納得するまで話したり、理解を得、利用者様本位の考え方を尊重したい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様との会話の中でお聞きしたことをセンター方式(暮らしの情報)シートを活用し、職員間情報の共有を行っています。	○	継続していきたいです。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の変化を情報収集し、申し送りや生活記録等でスタッフ間情報の共有を行っております。	○	日々日常の観察と異変の察知を心掛けていきたい。
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	まずはご本人様の要望を一番に考え、ご家族様や居室担当職員と相談しながらフロアーミーティングなどで話し合い作成しております。	○	どんな小さなことでも情報の共有ができるようにしていきたいとおもいます。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	その都度、ご本人様、ご家族様に相談しながら担当者会議を行い見直しを検討しております。		

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の申し送り(朝・夕)で話し合い情報の共有を行い、欠席者にはホワイトボードや申し送りノートで提示し見直しに活かしております。		
３．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	要望に応じて臨機応変に対応しております。(介護タクシー・レンタル事業など)		
４．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	毎年中学生の職業体験受け入れを行い、行事の際には高校生の和太鼓や大正琴等ボランティア協力をお願いし、地域住民のご協力もありました。防災関係では消防署との関りもできました。	○	今後も積極的に参加していきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の他社のグループホームに相談したり、地域包括支援センターの助言をいただきながら検討しております。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	わからないことや困っていることなど相談し、大変お世話になっております。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に1度、往診をしていただき、利用者様に変化があったときには相談、受診し素早い連携をはかっております。また専門外医療も関係医療機関を紹介していただいております。	○	連携の維持と継続を図っていきたい。

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
44	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症についてよく理解していただき助かっております。また精神科領域においてかかりつけ医(内科)の先生で診断が出来ないときは専門医の診断を受けております。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ほぼ毎日、巡回看護師の方に来ていただき、健康チェックと相談を行っております。又夜間緊急時の対応も行ってくださっています。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	日頃より近隣病院のソーシャルワーカーの皆様と連携をとり、相談、情報交換に努めております。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期についてご本人、ご家族様からのお考えをうかがい、ご要望に添えるよう医療との連携をはかり体制を整えております。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	日々の変化の中でかかりつけ医に相談し、その後の方向性を検討しております。また入院に至った場合でも、それ以降の相談、支援を継続して行っております。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご本人様にとって転居がスムーズに受け入れられるよう、転居先については、ご家族様と十分な話し合いを心掛けております。		

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1．その人らしい暮らしの支援				
（1）一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーへの配慮、丁寧な言葉かけの対応ができるよう常に申し送り、ミーティング等で話し合っております。	○	言葉の使い方はこれからも話し合っていきたいと思います。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご本人様の希望を尊重し、できる限り早い段階で実現できるよう支援しております。	○	ご本人様の希望に沿えるよう努めていきたいと思います。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを尊重し、希望に沿った援助をおこなっております。	○	スタッフが落ち着いて利用者さまと関れるようスタッフへの配慮もしていきたいと思います。
（2）その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	出張美容室に定期的に来て頂き、ご本人の希望でカット、カラーなど行っていただいたり、なじみの理髪店に月一回通う方、ご家族の希望により美容師さんをお連れする方などいらっしゃいます。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の可能な限り手伝っていただき、準備・後片付けなど一緒に行い、またメニューを決めていただくこともあります。	○	食事がいつまでも楽しみでいただけるよう工夫をしていきたいとおもいます。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者様の希望により買い物など、一緒に出かけております。	○	継続していきたいです。

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄表を活用し、間隔パターンを把握しスムーズな誘導を心掛け失敗により自尊心を傷つけないよう配慮しております。	○	スタッフにより誘導時間等が、かわったりしないように統一していきたいと思います。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な曜日は決まっておりますが、ご本人の希望により日中、夜間問わず入浴は自由に入って頂いております。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの習慣や体調に合わせて、休息、睡眠を支援させていただいております。		
（3）その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	今まで過ごした習慣や生活暦など参考にしながら、個別に対応しております。	○	役割や楽しみごと、気晴らしができていない方もいらっしゃいますが、できるだけ皆さんがそれぞれ楽しみごと、気晴らしができるよう努めてまいります。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人様の要望により、ご家族様と相談をしながらお小遣いとして小額のお金を持っていただき、買い物など楽しまれています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お天気のよい暖かい日は、戸外に出るよう心掛けており、お弁当持参で近所の神社や公園などに出掛けております。	○	継続していきたいと思います。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別に要望をうかがい、担当職員が誕生月に外出計画を立て1日利用者様の行きたい所にご一緒したり、ご家族様による外出もお願いしております。	○	利用者さまが楽しんで思い出をつくってくださるよう支援していきたいと思います。

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙は気持ちを尊重し、電話の取次ぎや手紙の投函などお手伝いさせていただいております。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会にいらしたお客様を笑顔でおもてなしをし、お茶をお出しして楽しんで頂けるよう努め、お帰りの際には必ずお礼の言葉をおかけしております。		
（4）安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束などの行動制限は行っておりません。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけずにおりますが、防犯。事故防止の為施錠する場合があります。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は常にリビングに1人見守りとして居るよう心がけ、夜間の巡回見廻りはプライバシーに配慮して行っております。	○	夜間居室に入ってしまうと目の届かないところもあるので常に巡回、安否確認は行っていきます。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁など使用するときは職員が必ず付き添い、危険物は職員が管理していますが、利用者様によってはご自分で管理されてる方もいらっしゃいます。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止対策委員により月1回、事故やヒヤリハットの検証・意見交換などを行い、検討を重ねております。	○	事故の検証をすることにより事故が減ってきております。これからも継続していきたいです。

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急救命や緊急時の対応などの講習を受けたり、事故発生時の協力体制について、常に確認しております。	○	利用者様の急変時慌てず応急処置ができるよう、全スタッフの研修が必要。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災発生時、地震発生時の訓練は昨年実績3回。地域の防災訓練にも参加し協力を得られるように働きかけております。	○	万が一の災害発生を想定して今後の体制づくりを確認していきたい。食料及び備品の備蓄も増やしていきたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	健康状態のほか日常の変化についても、相談報告し、ご家族様と一緒に考えるようにしております。	○	これからも素早い対応をしていきたいです。
（5）その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	巡回看護師と連携し、日々の体調変化を見逃さないよう心がけ速やかにかかりつけ医に相談、受診を行っております。	○	些細な体調の変化も見逃さないよう気をつけていきたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局からいただく薬の指示書を個人記録ファイルに綴じ、内容がわかるようにしてあります。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便を促す飲食物や、身体を動かす働きかけを行ったり、入浴時のマッサージ等、常に心がけ行っておりますが、排泄チェック表により排便の確認が取れないときは看護師、かかりつけ医の指示のもと便秘薬など使用しております。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後ADLに応じた口腔ケアを行い、1ヶ月に2度歯科の往診を受け、定期的に歯石除去の為。歯科医院を受診しております。		

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、飲水量を毎日チェックし、栄養バランスを考え献立を作成、実践しております。	○	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、ＭＲＳＡ、ノロウイルス等）	感染症予防の為、利用者さまやスタッフは、常に手洗いうがい、口腔ケアに努めております。また感染マニュアルなど整えております。	○	キッチン周りのハイター消毒、トイレ周りのアルコール消毒など継続していきたいと思います。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所用品(まな板、包丁、ピューラー、布きん等)は毎日ハイター消毒、調理担当者はアルコール消毒をするとともに調理用エプロンを使用し、特に生ものの取り扱いには注意し、購入後なるべく早く食材を使用するようにしています。		
２．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり （1）居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前に季節の花をプランタに入れ替え、ご近所の方も休憩できるようにベンチを設置しております。夜間は外灯をつけたりクリスマスにはイルミネーションで飾り付けをしております。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を取り入れる為、毎月ディスプレイを変えたり、写真の掲示も楽しめるような工夫をしております。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室の空間で布団を敷いて寝たり、ソファーでくつろぐことにより休息できるようになっております。		

項　目		取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はご本人様の昔使っていた物など意向に合わせ、またご家族様と相談しながら配置を考えております。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気は朝掃除を行うときに合わせ、窓を開放し行うようにしております。また気温の変化に合わせ空調の温度設定を行っております。		
（2）本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はできる限り障害物を置かないよう配慮し、手摺りも必要なところには設置し、立ち上がりの補助になるよう考えております。床も汚れや水分により滑らないよう、そのたび拭くように心がけております。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの力を尊重し、達成感や喜びが得られ、安心して過ごせるよう支援しております。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	家庭菜園をしたり、天気の良い日には駐車場にあるベンチに座りながら体操や歌を歌ったり、ウッドデッキでは暖かい日はお茶を飲んだり食事をしたりしています。		

Ｖ．サービスの成果に関する項目

項　目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
		○	②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		①毎日ある
		○	②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項　目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
（この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。）

閑静な住宅地の一角に所在し、ご利用者とスタッフが一緒になり小さな家庭菜園をつくっております。
ご利用者の誕生日には個別にてスタッフと一緒に食事や希望に沿った楽しい時間を過ごしています。
共同生活にとらわれることなく自由に生活できるようできる限りの支援を行っております。
地域や近隣の皆様と助け合い暮らしていけるよう積極的に活動しております。
利用者さま、ご家族様、近隣の方々が一緒に楽しめるよう行事には多方面のボランティアの皆様によるご協力をいただき盛大に行っております